

# 中学生議員が提言

8月5日、役場3階の議場で「二日子ども議会」が開催されました。この日、議員として質問席に立ったのは町内の中学3年生16人。本物の議会さながらに活発な質問を行い、中学生の視点からよりよいまちづくりを提案しました。



邑楽南中学校  
金久保 希実 議員  
(本郷江原・29区)  
Kanakubo Nozomi

## 町の医療

安心して子どもを産み育てやすいと思える町づくりのために、産婦人科や小児科はできないでしょうか。

健康づくり課長―小児科医の仕事は子どもとのコミュニケーションが重要で、診療時間が大人の何倍もかかります。小児科の開業医の数が地方で少ない理由として、少子化の影響が大きいと思われる。

このような中で、小児科医師や産婦人科医師の確保は、町単

独でできることではありません。

医師の労働条件や経済的サポート体制について、関係機関に働きかけるなどの検討を行うとともに、小児医療に関わっている病院への運営費補助を継続して実施するなど、太田館林保健医療圏として小児医療などの充実を図っていくことが必要です。



邑楽南中学校  
齊藤 壮哉 議員  
(西ノ根宮内中島・24区)  
Saito Soya

## 計画的な土地利用の推進

もともとは畑だった場所が、今は有効に使われていないような土地があります。土地区画整理事業が進められているようですが、具体的な進捗状況を教え

てください。

都市計画課長―町は県農業公社が運営する農地中間管理機構を活用し、農地の貸し手と借り手をつなぎ合わせることで、農地が有効利用されることを目指しています。しかし、土地の管理は所有者の責任であり、町が強制的に有効活用させることは困難です。また、土地所有者が遠方に住んでいて、現地の様子をよく把握していない場合もあります。周囲へ悪影響が生じそうな場合、所有者に適正な管理を行うように指導しています。

次に、土地区画整理事業について、現在は轄地区のみで実施しています。この事業は平成10年に事業計画が決定後、令和12年までの長期間の事業としてま



邑楽南中学校  
中村 円香 議員  
(水立大黒・23区)  
Nakamura Madoka

## 子育て支援の充実

私が通っていた町立児童館は長期休みのときにお弁当を持参していました。しかし、お弁当を作るのはとても大変で親の負担にもなってしまう。給食のようなサービスの導入はできないでしょうか。

子ども支援課長―学校給食センターは、授業のある日はほぼ毎日給食を作っていますので、長期休みを利用して調理器具など

の念入りな点検を行っています。そのため、長期休み中の給食の提供は残念ながら困難です。そこで、長期休み中はご家族と一緒にお弁当作りを楽しむのはいかがでしょうか。給食センターでは給食の人気レシピをホームページで公開しています。また、お弁当作りの参考になる動画配信も今後検討していきます。



邑楽南中学校  
船橋 一誓 議員  
(水立大黒・23区)  
Funabashi Issei

## 長柄地区の商業の振興

中野地区ではスーパーなどの商業施設がありますが、長柄地区にはないため不便だと感じます。長柄地区の商業振興についての対策はありますか。

都市計画課長―これは都市計画法という法律の制限によるもので、中野地区の商業施設は市街化区域というエリアに建築されています。一方、長柄地区の国道354号沿線は市街化調整区域というエリアになります。市



街化区域は建物を積極的に建てられるエリアなのに対し、市街化調整区域は市街化になることを抑えるエリアなので、商業施設の立地が難しい区域となります。そこで町は、一定程度の住宅や商業施設を建築できるように、令和3年5月1日に邑楽南地区地区計画という区域を設定しました。現在、邑楽南中学校の東側で工事を進めているのが、邑楽館林農業協同組合が建設する農産物直売所と町が整備するバスロータリーです。この施設を長柄地区の地域拠点として地域の活性化を図ります。



邑楽南中学校  
湯田 穂花 議員  
(馬場大林・25区)  
Yuda Honoka

## 高齢・障がい者のデジタル問題

すべての人がデジタル社会に対応できるようなシステムが必要だと考えます。高齢化の進む時代とデジタル化の進む時代のギャップをどのように埋めていくと考えますか。

福祉介護課長―町は第六次総合計画後期基本計画にICT(情報通信技術)の推進をあげてい

ます。町の取り組みとして、高齢者向けのパソコン・スマホ講習会や相談会を複数回開催し、まずは興味を持ってもらう、慣れてもらう機会を提供しています。また、言語機能障害、聴覚障害の人が緊急時にスマホなどから119番通報を行うための「NET119緊急通報システム」の登録サポートや、マイナンバーカードの取得サポート業務なども行っています。今後いろいろな手続きのオンライン化が進むことが予想さ



邑楽南中学校  
原 瑠唯 議員  
(本郷江原・29区)  
Hara Rui

## 温暖化防止対策の増進

社会科の授業で再生可能エネルギーを使用した方が地球の環境に良いと学びました。学校にソーラーパネルを設置することはできますか。

学校教育課長―現在、温室効果ガスの排出量を削減するため、再生可能エネルギーの活用を推進することは国全体として進められています。小学校や中学校においても、今後、新しい校舎を建てるときには、太陽光パネルの設置を前向きに検討し、再生可能エネルギーを活用するとともに、環境教育の教材としても、児童生徒の皆さんが活用できるようにしていきたいと考えています。

町長―既存校舎についても設置



邑楽中学校  
清水 陸央 議員  
(上下西宿・7区)  
Shimizu Rio

## パソコン室の活用

昨年から生徒全員にタブレットPCが配布されたので、学校のコンピュータ室の使用頻度が減っています。どのような活用方法があると考えますか。

学校教育課長―国は当初、全国の小中学校に4年間かけて1人1台のPCを整備しようとして進めていきましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大し、1年間で整備することになりました。そのことで、コンピュータ室も一気に使用されなくなりました。ここから、皆さんが学校に来ることができない状況になった場合に、授業をオンラインで配信できるように、学校のPCの半数近くを設定変更しました。また、教師が職員室で使用しているPCが不調の場合は、



邑楽中学校  
村川 愛結 議員  
(谷中蛭沼・11区)  
Murakawa Ayu

## 観光活動の活発化

町には自然が多いので、それを生かしたイベントを開催するのはどうでしょうか。

商工振興課長―1月の最終日曜日には、白鳥の観察や地元農家による新鮮野菜の販売などを行う「白鳥まつり」を開催しています。自然を生かした、特に白鳥を中心とした観光資源は、11月から2月までの観光の休眠期間としては、非常に効果があると思いますので、白鳥が飛来する邑楽町を観光資源としてさらにPRしていきたいと思っています。また、外来魚駆除大作戦やホテル鑑賞会など、自然とふれあひながら多くの人たちと楽しむ行事も実施しています。こうした取り組みとも連携し、町を



盛り上げていきたいと考えています。



邑楽中学校  
篠原 蒼二郎 議員  
(天王元宿・5区)  
Shinohara Sojiro

### 給食費の無償化

毎月払っている給食費が子育てをしている家庭にとって負担になっていると考えられます。

教育長―幼稚園児の給食費については、令和元年10月から無償としています。令和3年度からは、小中学生の給食費の減免を開始しています。町内の小中学



邑楽中学校  
山口 凌生 議員  
(十三坊塚・6区)  
Yamaguchi Ryo

### 生徒数減少への対策・方針

生徒数の減少により廃部してしまう部活動や、人数が足りず大会などに出場できない部活動があります。どのような対策がありますか。

教育長―これからの部活動のあり方として、地域部活動という取り組みが全国的に進められようとしています。この取り組みでは、地域の団体の中に混ざって部活動を行うことも可能にな



校に通う児童生徒の給食費について、第二子は半額を免除、第三子以降は全額を免除です。

町が給食費を無償化する場合、皆さんからいただいている給食費約8000万円分を、税金で補填する必要があります。家庭の家計と同じように、どこかの支出を抑えて捻出することになります。現在町では、給食費と限定された範囲ではなく、広い年代に対する経済支援策として、プレミアム商品券を導入しています。今後の町の給食費については、近隣の動きのほか、給食費以外の経済支援策とのバランスなど踏まえて判断していくこととなります。



邑楽中学校  
神山 優愛 議員  
(十三坊塚・6区)  
Kamiyama Yuna

### 信号機の改善

登校するときなど信号機が見えにくいことがあります。電球式から、LEDに変えたり、信号機の向きを変えたりすれば見やすくなり、事故も減るのではないかと思います。

総務課長―信号機の設置交換については、県警本部が行っています。交通量や交通事故の発生件数、危険場所などを考慮し、優先順位の高いところからLED化しているとのこと。季節や時間帯によっては、信号機が見えにくいことがあります。



邑楽中学校  
寺田 紫音 議員  
(新中野・33区)  
Terada Shion

### ごみステーションの管理

清水公園前のごみステーションではガラスがごみをあさり、道路上に散らかって不衛生です。他の場所でも同様に散らかっているところが見られます。

建設環境課長―ごみステーションの設置や管理は地域の行政区に行っていただいています。ごみの散乱被害が起きてしまう原因は、かぶせたネットがきちんと広がっていない、ゴミの袋が

むき出しになっていることなどが考えられます。これらは、ごみを出す人のマナーや使用するネットの改善などで防げます。

また、地域によっては、かごや囲いなどを製作しているところもあります。町からの対応として、ごみステーションの整備を行う行政区に対し、必要なネットを渡したり、補助金を出したりして、かごや囲いなどの設置の協力を行っています。ごみの散乱被害を防止するためには、ごみを出す人の心がけと、ネットなどを適正に活用することが大切です。



邑楽中学校  
松井 綾 議員  
(新中野・33区)  
Matsui Aya

### 先生の労働時間

現在、先生の長時間労働が社会問題になっていて、このままだと質の高い授業を受けることが難しいと思います。先生の負担を減らすための活動があれば教えてください。

かし、規制を緩くすることで、危険なサイトに行きやすくなる事態を招いてはいけません。これまでの使用状況について、情報担当の先生と教育委員会事務局で相談をしながら、少しでも皆さんが使いやすくなるように検討していきます。



邑楽中学校  
金子 奈央 議員  
(新中野・33区)  
Kaneko Nao

### 新中野アンダーパスの改善

新中野アンダーパスを自転車で行く場合、車との距離が近く、坂も急なので危険です。

建設環境課長―改善方法として踏切や歩道橋、自転車専用レーンの設置などが考えられます。しかし、これらの方法は安全面の観点や費用対効果で考えると、残念ながら厳しい状況です。ほかにできる対策としては、道路の左端に矢羽根型路面表示を描き、自転車や自動車ドライバーに、自転車の通行する場所を認識してもらう方法があります。自転車の通行域が明確

になることで、幅寄せなど危険な状況が軽減すると思います。

町長―町では、安全な道路を増やしていくことで交通事故防止に努めています。ご質問いただいた件は早急に対応ができるように努めていきます。



教育長―まず一つ目は、書類の作成や管理をコンピューターを使って補助するシステムの導入です。情報共有や連絡を電子メールのように行うことができ、業務で忙しい中でも、先生の都合の良い時に連絡をとれるようになります。

二つ目に、教育委員会主催の行事などを見直しました。研修会の実施回数を減らし、要点を絞ったり、報告書類を簡素化したりすることで、先生の負担軽減を図っています。

三つ目ですが、授業を補助する人材の配置です。各学校に、指導助手や支援員、相談員や部活動支援指導員の先生などを任用しています。今後も、先生たちが本来の業務に集中して取り組めるよう、適切に人材を配置していきます。

## 町へ未来のための提言



堂々とやり遂げた

16人の中学生議員たち